



4

生活・産業を支える 基盤づくり

(1) 基盤整備

- ①市街地・住宅・景観
- ②公園・緑地
- ③道路
- ④公共交通
- ⑤上下水道

(2) 産業振興

- ①農業振興
- ②工業振興
- ③商業振興
- ④観光振興

(1) 基盤整備

市街地・ 住宅・ 景観



目標

誰もが暮らしやすいコンパクトなまちをつくります

- 生活サービス機能を計画的に配置し、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを推進します。
- 計画的な新市街地の整備や既成市街地の暮らしやすい住環境を形成するため、土地区画整理事業や民間事業者による開発を推進します。



取組の成果指標



指標	現状値 (2017)	5年後の目標値 (2023)	20年後の方向性 (2038)
市街化区域内の 都市的土地利用率	86.0%	87.0%	↗
鉄道駅・バス停の 徒歩圏人口カバー率	91.6% (2015)	95.0%	↗
景観重点地区設定数	0地区	2地区	↗
空き家の利活用件数	0件	5件	↗

関連計画

東浦町都市計画マスタープラン
コンパクトなまちづくり計画
東浦町公営住宅等長寿命化計画
東浦町景観計画
東浦町公共施設更新計画
東浦町公共施設等総合管理計画
東浦町空家等対策計画

関連施策

公園・緑地
道路
公共交通
農業振興
地域活動



目標を実現させるための取組



取組①

新市街地の整備

周辺環境と調和した住環境の整備を進めます。

現状

- 交通や買い物が不便、都市基盤が整っていない、住宅事情が悪いなどの意見があげられています。

課題

- 周辺環境と調和した市街地や都市基盤の整備、生活利便施設の整備が必要です。

実施内容

- 暮らしやすい住環境を確保するため、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりに沿った新たな住宅地を整備し、定住の促進を図ります。
- 都市計画道路などの整備を土地区画整理事業と一体的に早期に行います。
- 住民参加の会議などで検討した各地区の課題に応じた事業を検討します。

取組②

既成市街地の整備

暮らしやすい住環境の形成を推進します。

現状

- 既成市街地の中には、車のすれ違いができない生活道路や有効活用できない土地があります。

課題

- 狭あい道路や未利用地の解消が必要です。

実施内容

- 車のすれ違いができない狭あい道路を解消するなど、住民の交通安全性の向上、防災性の向上のため、面整備による生活道路の整備を行います。

取組③

空き家対策

空き家の適切な管理指導を進めます。

現状

- 少子高齢化や核家族化の影響により空き家が増加傾向にあります。

課題

- 空き家の適正管理が必要です。

実施内容

- 高齢者の一人暮らしや、高齢者のみで暮らす世帯に対し、啓発などを行い、空き家にならないための予防対策を推進します。
- 良好な物件に関しては、物件の情報を提供し、利活用を促進します。
- 管理されていない空き家に関して、適切な管理を指導します。

用語解説

都市的土地利用率

市街化区域内の土地利用に対して、住宅用地、商業用地、工業用地、官公庁施設などの公的公益用地、公園などの公共空地の割合。

コンパクトなまちづくり

郊外への市街地拡大を抑制し、生活に必要な諸機能・施設などが住まいの身近にあり、鉄道やバスなどの公共交通が充実し、それらの都市機能の集積地およびその周辺に人口が集積した、効率的で持続可能な都市(まち)。

都市基盤

都市の道路・鉄道などの交通施設や上下水道・ガスなどのライフラインおよび公園・緑地など。

生活道路

地域住民の日常生活に利用される道路で、地域内の移動あるいは、幹線道路に出るまでの道路。

狭あい道路

幅員が4mに満たない道路。

面整備

宅地造成と地区に必要な道路、公園、水路などの施設を一体的に整備すること。

取組④

景観形成の充実

良好な景観資源の保全と魅力ある東浦らしい景観に配慮したまちづくりを進めます。

現状

- 古いまち並みや、のどかな田園風景と新しい建物の混在化により、良好な景観が損なわれつつあります。

課題

- 歴史的景観、市街地や農地、水辺の景観など多様で特性に応じた景観の保全が必要です。

実施内容

- 暮らしやすさに配慮しながら、良好な景観資源の保全や計画的な景観整備を行います。
- 重点区域を設定し、地域に応じた景観に配慮したまちづくりを進めます。
- 快適な住環境整備を促進のため、景観意識の普及、啓発を行います。



誰が何をするのか



協働の進め方

暮らしやすい住環境の形成に向けて、住民の意見を聴取し事業を推進します。



住民・団体の役割



- 土地区画整理事業などの市街地整備の必要性を地域で検討します。
- 狭あい道路の解消に向けた拡幅事業の必要性を理解し協力します。
- 空き家の適正な管理をします。



事業者の役割



- 優良な住宅供給を行います。
- 市街地開発においては、周辺環境と調和した市街地の形成を目指します。
- 市街地開発においては、地権者へ事業内容を周知します。



行政の役割



- 市街地開発を行う事業者への適切な助言や指導をします。
- 市街地開発にあたり、要綱などに基づいた助成金の交付などの支援を行います。



緒川景観街並み



生路景観街並み



於大のみち 八重桜



菜の花の風景

計画策定にあたって

基本構想

基本計画

参考資料

(1) 基盤整備

公園・
緑地

目標

地域の実情にあわせた公園の
管理運営と緑化の振興を目指します

- 人口減少や高齢化の進展など、環境の変化に対応し、適切な公園や公園内施設の整備と緑豊かなまちにするため、緑化を推進します。



取組の成果指標



指標	現状値 (2017)	5年後の目標値 (2023)	20年後の方向性 (2038)
協働による管理運営を実施している公園数	0公園	5公園	↗
住民一人あたりの公園面積	7.7㎡	8.0㎡	↗

関連計画

東浦町緑の基本計画

関連施策

市街地・住宅・景観
自然環境保全
地域活動



目標を実現させるための取組



取組①

公園の管理運営

行政と住民による協働の管理運営を推進します。

現状

- 公園の管理運営を行政主導で行っていますが、利用者ニーズに十分な対応ができていません。

課題

- 行政と住民で役割を分担し、利用者ニーズの多様化への柔軟な対応が必要です。

実施内容

- 公園施設の管理運営について、地域の実情に合った行政と住民の役割分担を共有し推進します。
- 於大公園などの大規模公園の再整備にあたっては、Park-PFIなどの民間活力導入を検討します。
- アダプトプログラムを活用し公園の美化を推進します。
- 公園の整備を進めるとともに、必要に応じた統廃合を検討します。

取組②

緑化の振興

市街地内の緑化の推進を図るとともに、公共緑地の適正な管理を行います。

現状

- 市街地における民有地の緑化推進と公共緑地の管理が十分にされていません。

課題

- 緑化推進に対する意識向上や、公共緑地の適切な管理や利活用に向けた、住民主体の保全活動が必要です。

実施内容

- 民有地の緑化を支援します。
- 住民主体の保全活動を推進します。
- 緑地のレクリエーション空間としての活用に努めます。



於大公園



このはな館(於大公園)

用語解説

ニーズ

Needs(必要。要求。需要。)

Park-PFI

都市公園における民間資金を活用した新たな整備や管理を実施する手法。

アダプトプログラム(里親制度)

一定区間の公共の場所を養子に見立てて、住民が里親となって、その場所の環境美化活動などを行い、行政がそれを支援する制度。



誰が何をするのか



協働の進め方

公園などの管理運営について、人口減少などに伴う財政見通しや必要経費、運営上の課題などの情報を行政と住民が共有し、管理運営の役割分担を実施します。



住民・団体の役割



- 地域の公園、緑地における管理運営を実施します。
- 緑地の保全活動を実施します。



事業者の役割



- 地域の公園、緑地の整備や管理運営を実施します。
- 緑地の保全活動を実施します。



行政の役割



- 地域の公園、緑地における管理運営の役割分担を推進します。



三丁公園



みどり浜緑地

計画策定にあたって

基本構想

基本計画

参考資料



おだいプレーパーク(於大公園)

(1) 基盤整備

道路



目標

移動しやすく安全な道路網を構築します

- 円滑な通行ができるよう、利便性を向上させます。また、幹線道路の整備により通過車両の生活道路への流入を減らすとともに、災害時などにも安全な道路網を構築します。



取組の成果指標



指標	現状値 (2017)	5年後の目標値 (2023)	20年後の方向性 (2038)
都市計画道路の整備率	47.3%	48.9%	↗
幅員4m未満道路の改良延長	152,846m	154,346m	↗
橋梁(きょうりょう)の 修繕対策実施率	56.0%	71.0%	↗

関連計画

東浦のみちづくり計画
道路拡幅計画

関連施策

消防・救急
交通安全・防犯
市街地・住宅・景観

公共交通
地域活動
公共施設マネジメント



目標を実現させるための取組



取組①

幹線道路の整備

幹線道路の計画的な整備により渋滞を解消するとともに、産業の活性化や災害時などの緊急輸送道路も確保します。

現状

- 西三河地区を結ぶ橋の不足や幹線道路の未整備などにより特に朝夕で広域的に渋滞が発生しています。

課題

- 産業の効率化に向けた円滑かつ安全な道路網の整備が必要です。

実施内容

- 西三河と知多地域を結ぶ新たな東西軸となる広域的な道路の実現を推進します。
- 都市計画道路の整備や道路改良により、道路ネットワークの強化を進めます。

取組②

生活道路の整備

歩行者、自転車の安全な通行や緊急車両の円滑な通行を確保します。

現状

- 狭あい道路については、交通の混雑や、緊急車両が通行できないなどの生活環境の悪化が発生しています。

課題

- 狭あい道路の拡幅や歩道の確保が必要です。

実施内容

- 既成市街地内の生活道路については、建物の建替えなどの際に用地を確保することにより拡幅や歩道設置などの整備を図ります。
- アダプトプログラムによる住民や事業者による環境美化も含めた道路の適正管理を推進します。

取組③

道路のバリアフリー化

高齢者や障がい者などに配慮した道路のバリアフリー化を進めます。

現状

- すべての人にやさしい道路整備が求められています。

課題

- 高齢者や障がい者、子どもなどの生活利便性の向上が必要です。

実施内容

- 道路の段差を解消するなど人にやさしい道路整備を推進します。

用語解説

幹線道路

主要な地点を結ぶ重要な道路

生活道路

地域住民の日常生活に利用される道路で、地域内の移動あるいは、幹線道路に出るまでの道路。

橋梁(きょうりょう)

橋。通行のために、川や湖・谷・道路などの両側を結んでかけた構造物。

狭あい道路

幅員が4mに満たない道路。

アダプトプログラム(里親制度)

一定区間の公共の場所を養子に見立てて、住民が里親となって、その場所の環境美化活動などを行い、行政がそれを支援する制度。

バリアフリー化

段差や仕切りを無くすなど、高齢者や障がい者が日常生活を送る上で、不便な障がいとなっていることを除去し、すべての人が安心して暮らせる環境をつくること。

取組④

道路施設等の維持管理

安全で快適な利用に向けた予防保全型の維持管理を進めます。

現状

●道路施設の老朽化が進んでいます。

課題

●計画的な修繕、更新が必要です。

実施内容

●橋梁長寿命化計画や舗装修繕計画に基づき計画的に施設の修繕を実施します。



誰が何をするのか



協働の進め方

アダプトプログラムなどで住民による清掃、草刈り、点検などの活動を実施します。インターネットやSNSを活用し、道路や水路の損傷などの早期発見、早期解決に努めます。



住民・団体の役割

- アダプトプログラムに参加します。
- フィックスマイストリートなどを活用し、道路の補修などが必要な箇所を連絡し、問題を共有します。
- 清掃、草刈り、点検などの活動を実施します。



事業者の役割

- アダプトプログラムに参加します。



行政の役割

- アダプトプログラムを推進します。
- フィックスマイストリートなどを活用し、協働活動につなげていきます。



町道藤江225号線



町道森岡藤江線

用語解説

SNS

Social Networking Service(インターネット上の会員制サービス的一种。友人・知人のコミュニケーションを円滑にする手段や、新たな人間関係を構築する場を提供するサービス。)

フィックスマイストリート

住民と行政が協力し、道路の破損等、地域の課題をスマートフォンなどを使って解決・共有していくための仕組み。



都市計画道路名古屋半田線



東浦知多インターチェンジ(知多半島道路)

計画策定にあたって

基本構想

基本計画

参考資料

(1) 基盤整備

公共交通



目標

移動しやすく交流できるまちを目指します

- 地域社会の活力向上、環境負荷の低減、渋滞の解消のため、広域的な交通網の構築に取り組み、公共交通の更なる利便性向上を図ります。



取組の成果指標



指標	現状値 (2017)	5年後の目標値 (2023)	20年後の方向性 (2038)
町運行バス「う・ら・ら」 利用者数	262,038人	314,000人	↗

関連計画

東浦町地域公共交通網形成計画

関連施策

交通安全・防犯
市街地・住宅・景観
道路
地域活動



目標を実現させるための取組



取組①

町運行バス「う・ら・ら」の充実

使いやすい公共交通サービスを提供します。

現状

- 町運行バス「う・ら・ら」へのニーズが多様化しています。

課題

- ニーズに対応したダイヤ、ルートの見直しなど利便性の向上が必要です。

実施内容

- 今まで乗り入れができなかったエリアなどへの新規路線の運行を検討します。
- 隣接する市町を運行するコミュニティバスや民間路線バスと連携を図り、乗り継ぎに便利なバスの路線やダイヤ設定を検討します。
- コンパクトなまちの各拠点を結ぶネットワーク機能を充実します。

取組②

鉄道の利便性の充実

鉄道の利用促進を図るとともに、すべての方が気軽に利用できるよう便数の増加や鉄道駅のバリアフリー化などを要望します。

現状

- JR武豊線や名鉄河和線は通勤、通学などの重要な手段となっています。

課題

- 町内外への公共交通機関として、更なる利便性の向上が求められています。

実施内容

- 広報などのPRにより鉄道の利用を促進します。
- 便数の増加など利便性の向上に向けて、沿線市町と協力して鉄道事業者へ要望します。
- 町内すべての駅のバリアフリー化を鉄道事業者へ要望します。

取組③

パーク&ライドの取組

パーク&ライドを活用し、渋滞緩和や環境負荷対策を目指します。

現状

- 自動車での町外移動が多く、渋滞が問題となっています。

課題

- 渋滞緩和のため、公共交通機関の利用促進が必要です。

実施内容

- 公共交通利用を促進するため、駅周辺へのパーク&ライドを推進します。

用語解説

町運行バス「う・ら・ら」

町が運行するコミュニティバス。町全域、大府市、刈谷市の一部を運行し、公共施設・病院・ショッピングセンター・鉄道駅などを経由する。

ニーズ

Needs(必要。要求。需要。)

バリアフリー化

段差や仕切りを無くすなど、高齢者や障がい者が日常生活を送る上で、不便な障がいとなっていることを除去し、すべての人が安心して暮らせる環境をつくること。

パーク&ライド

都市部の交通混雑や環境負荷の緩和のため、自動車を郊外の駐車場に停めて公共交通機関を乗り継いで都心に入る方法。



誰が何をするのか



協働の進め方

住民が利用しやすく、住民によって支えられる公共交通とするため、住民ニーズを把握し、運行計画や利用促進策を検討し、効率的なバス運行の確保とパーク&ライドの推進に努めます。



住民・団体の役割



〈住民〉

- 町運行バス「う・ら・ら」のニーズ調査に協力します。
- 積極的に公共交通機関を利用します。
- 自動車に依存しない生活を目標します。
- パーク&ライドを実施します。



事業者の役割



- 路線バス、タクシーを運行します。
- パーク&ライドに協力します。



行政の役割



- 町運行バス「う・ら・ら」の効率的な運行に努めます。
- 公共交通の利便性向上に努めます。
- 公共交通に関する積極的な情報発信を行います。
- パーク&ライドの推進、普及啓発を実施します。



バスロケーションシステム



東浦駅 (JR武豊線)



尾張森岡駅 (JR武豊線)

計画策定にあたって

基本構想

基本計画

参考資料

(1) 基盤整備

上下水道



目標

安全な水の安定供給、下水道への接続により海や川の水質を保全します

●安定した水の供給を行い、経営の安定化に努めていきます。また、下水道への接続を促進し、水質を保全します。



取組の成果指標



指標	現状値 (2017)	5年後の目標値 (2023)	20年後の方向性 (2038)
水道管の耐震化率	22.5%	25.8%	↗
下水道普及率	81.9%	83.0%	↗
水洗化率	80.6%	84.0%	↗

関連計画

東浦町水道基本計画
汚水整備計画

関連施策

防災
消防・救急
地域活動
公共施設マネジメント



目標を実現させるための取組



取組①

水道施設等の維持管理

安全な水の供給を行うとともに、予防保全型の維持管理により施設の長寿命化を図ります。

現状

- 水道管の老朽化が進んでいます。

課題

- 計画的な修繕、更新が必要です

実施内容

- 将来の水需要を予測し、事業経営にあった更新計画を策定します。
- 水道管の耐震化を推進します。
- 施設の計画的な改修や更新を行います。

取組②

事業経営の安定化

適切な料金収納に努め、事業経営の安定化を図ります。

現状

- 人口減少により、水道料金や下水道使用料の増加が見込めません。

課題

- 健全経営のため、適切な水道料金や下水道使用料の徴収が必要です。

実施内容

- 口座振替による納付を推奨します。
- 料金負担の公平性の確保のため、適切に料金収納をします。
- 安定的な事業経営を行うため、経営の基本計画を策定します。

取組③

公共下水道の整備

下水道への接続を促すとともに、予防保全型の維持管理により施設の長寿命化を図ります。

現状

- 下水道への接続が進まない反面、既存の下水道施設の老朽化が進んでいます。

課題

- 下水道への接続推進と、計画的な改修が必要です。

実施内容

- 下水道への接続を促すため、啓発活動を強化し、接続向上に努めます。
- ストックマネジメント計画を策定し、長寿命化対策の実施及び不明水の解消を図ります。
- 施設の計画的な改修や更新を行います。

水道管の耐震化率

水道管の全体延長のうち、耐震型継手を有する水道管を示す割合。

下水道普及率

全体の人口のうち、どのくらいの人が下水道を使えるようになったかを示す割合。

水洗化率

下水道を利用できる地区に住んでいる人のうち、どのくらいの人が実際に下水道に接続しているかを示す割合。

ストックマネジメント

長期的な視点で施設の老朽化によるリスクを考慮し、優先順位付けを行った上で、事業費の平準化も図られた持続可能な施設管理を実施すること。



誰が何をするのか



協働の進め方

上下水道を適正に利用します。



住民・団体の役割



- 水道水の適正利用に努めます。
- 下水道の利用できる地域では下水道への接続を行います。



事業者の役割



- 水道水の適正利用に努めます。
- 事業所における下水道施設の適正な維持管理を行います。



行政の役割



- 下水道接続を促進します。
- 料金などの滞納の抑止に努めます。



配水池



 **愛知県 東浦町** 23-442-A001



34°58'52.9"N
136°58'19.0"E

 458-72-24-1

デザインの由来




ウノハナ



トビハゼ

設置開始 1991年

中央に描かれている魚は、昭和40年代まで本町の河川の河口付近でよく見られた「トビハゼ」という魚です。その名前のように、泥の上を飛び跳ねる魚として知られている魚です。河川の水がきれいになり、元気なトビハゼを再び見ることができるようにとの願いから、清流復活のシンボルとしてデザインしました。また、その周りには、本町の緒川地区が「卯の花の里」と古歌にもしばしば詠まれていた由縁もあることから、町花となっている「ウノハナ」と東浦町の町章マークで取り囲み、自然と共生し、うるおいあるまち「東浦」をイメージしたデザインとなっています。

1812-00-001

東浦町役場 上下水道課 ©GKP



マンホールカード

(2) 産業振興

農業振興



目標

農地利用を最適化し、 農業の担い手の育つまちをつくります

- 農地の集積・集約化を進め、農業がしやすい環境を整え、るとともに、農業の担い手を育成します。
- 高収益作物などへの転換や6次産業化を推進します。



取組の成果指標



指標	現状値 (2017)	5年後の目標値 (2023)	20年後の方向性 (2038)
新規就農者年間人数(累計)	4人	5人	↗
遊休農地面積	31ha	30ha	↘

関連計画

東浦農業振興地域整備計画書
農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想

関連施策

市街地・住宅・景観 地域活動
商業振興
観光振興



目標を実現させるための取組



取組①

経営基盤の強化・整備

農業経営に不可欠な施設、設備の維持管理などにより、農業の生産性を高め、農業経営の安定を図ります。

現状

- 基盤整備された良好な農地が農業生産力を支えています。

課題

- 農業基盤の再整備や適正な管理が必要です。

実施内容

- 農業用の排水施設を適正に維持管理し、用水施設については助言等を行います。
- 営農に支障のないよう維持管理事業を拡大します。
- 農業基盤の再整備の検討を行います。

取組②

農地の利用の最適化の推進

農地の集積・集約を進め、農地利用の最適化を目指します。

現状

- 遊休農地が増加しています。

課題

- 遊休農地の解消のため農地の利用促進が必要です。

実施内容

- 農業委員会やJAあいち知多と連携し、地域とともに農地の保全の啓発や農地バンク制度の充実を図ります。

取組③

農業経営と新規就農の支援

担い手不足を解消するため、JAあいち知多と連携し、新規就農や農業経営を支援します。

現状

- 農業の担い手の高齢化と後継者不足が進んでいます。

課題

- 新規就農などの農業の担い手不足の解消が必要です。

実施内容

- 規模拡大や経営改善、法人化を支援します。
- 女性を含めた新規就農者、既存農家の後継者の育成に努めます。
- 新たな特産物の開発支援やブドウなどの既存特産物の6次産業化を支援します。
- IoTなどの新技術導入支援に関する情報提供を行います。

用語解説

6次産業

農林水産業の生産（第一次産業）、食品加工（第二次産業）、流通販売・情報サービス（第三次産業）の一体化を推進して、地域に新たな食農ビジネスを創出しようとする取組。

農業基盤

田畑等の農地及び用水や排水施設等、農業を営む上で基礎となるもの。

遊休農地

現在、耕作のために使用されておらず引き続き耕作のために使用されないと見込まれる土地。

IoT

Internet of Things（建物、電化製品、自動車、医療機器など、パソコンやサーバーといったコンピューター以外の多種多様な「モノ」がインターネットに接続され、相互に情報をやり取りすること。）



誰が何をするのか



協働の進め方

農業者と協力して農地利用の最適化と農業用施設の長寿命化に努めます。地域で地産地消に努めます。



住民・団体の役割

- 地産地消に努めます。



事業者の役割

- 農地保全や集積、新規就農者の育成を実施します。
- 生産者組織などへ積極的に参画します。
- 農地の適切な利用と管理を行います。



行政の役割

- 農業用の排水施設の適正な維持管理、老朽設備の更新を実施します。
- 規模拡大や6次産業化に対する情報提供などの支援を行います。
- 農業委員などとの協力による農地保全と集積・集約化や新規就農者への支援を行います。
- 地産地消を推進します。



田植え



稲刈り

用語解説

地産地消

その土地(地域)で作られた農産物・水産物をその土地(地域)で消費すること。ここでは愛知県産を指す。

農業経営基盤

農業経営者が持つ、農地面積、資本整備(耕作機械など)、経営管理の方法(労働管理)。



ハウスいちご



ぶどう狩り

計画策定にあたって

基本構想

基本計画

参考資料

(2) 産業振興

工業
振興

目標

町内企業とともに発展するまちをつくります

●町内に根をはって操業している企業や町内に立地を希望する企業を支援します。



取組の成果指標



指標	現状値 (2017)	5年後の目標値 (2023)	20年後の方向性 (2038)
製造業の事業所数	120事業所	140事業所	↗
製造業の従業者数	5,402人	6,300人	↗



目標を実現させるための取組



取組①

中小企業の振興

中小企業に対する情報提供を行い、経営の安定化などを図ります。

現状

- 中小企業の多くは景気の影響を受けやすいです。

課題

- 中小企業が安定的に経営するための支援が必要です。

実施内容

- 補助制度の情報発信を行います。
- 商工会をはじめ、様々な機関との連携を強化し、販路拡大や製品開発、人材確保ができるよう中小企業を支援します。
- ものづくり企業の技術のPRをします。

取組②

企業の誘致

企業のニーズも踏まえ、工場適地への立地を支援します。

現状

- 進出希望の企業へ斡旋する用地がありません。

課題

- 新たな工業用地などが必要です。

実施内容

- 工場団地などの検討を進めます。
- 工場用地を確保する手法を検討します。
- 町内に進出する企業へ助成をします。
- 企業優遇施策のPRをします。
- 企業訪問などを行い、企業の情報やニーズの把握に努めます。
- 将来想定される道路の整備などの利便性を活かし、新たな医療機関や健康長寿関連分野などの企業誘致を検討します。



誰が何をするのか



協働の進め方

地域コミュニティとの交流を促進します



住民・団体の役割

- 地元企業へ関心を持つよう努めます。
- 企業の必要性の理解に努めます。



事業者の役割

- 雇用の拡大に努めます。
- 地域コミュニティとの連携に努めます。



行政の役割

- 企業誘致の促進を図ります。
- 中小企業への支援を推進します。
- 工場用地確保の手法を検討します。

用語解説

ニーズ
Needs (必要。要求。需要。)

(2) 産業振興

商業 振興



目標

町内商店とともに発展するまちをつくります

- 大規模店舗、個人商店のどちらも円滑な経営を行えるよう支援します。
- 魅力ある商店と大規模店舗とが共存し、町内外の人のニーズに対応した買い物やサービスを受けることができるまちにします。



取組の成果指標



指標	現状値 (2017)	5年後の目標値 (2023)	20年後の方向性 (2038)
卸売業、小売業の事業所数	278事業所 (2016)	280事業所	↗
卸売業、小売業の従業者数	2,779人 (2016)	2,800人	↗

関連計画

—

関連施策

農業振興
工業振興
観光振興

地域活動



目標を実現させるための取組



取組①

経営支援・経営基盤強化

地元の商店などが安定した経営を継続できるよう支援します。

現状

- 大型店舗やネット販売などの充実によって、地元の商店などが減っています。

課題

- 安定した経営ができるよう、時代に合わせた店づくりが必要です。

実施内容

- 貸付、保証料助成を実施します。
- 事業者の組織強化や商業団体などの活動支援を行うとともに、意欲的な事業者の事業活動を支援します。
- インターネットを活用したPRや経営ノウハウの共有などの育成支援を、商工会など関係機関と連携して取り組みます。

取組②

事業者の育成

起業を目指す人や後継者の育成を図ります。

現状

- 事業者の高齢化や後継者不足から事業の廃業が増加しています。

課題

- 後継者の育成や起業を目指す人への支援が必要です。

実施内容

- 経営者や従業員の意識改革を支援します。
- コミュニティビジネスを含め、起業を目指す人を支援します。
- 空き家、空き店舗などの活用を促します。

取組③

駅周辺の活性化

住民や通勤、通学者のために駅周辺の活性化を図ります。

現状

- JR武豊線や名鉄河和線の駅周辺に、通勤、通学者が滞留するようなにぎわいがありません。

課題

- 駅周辺に、にぎわいを創出する商業施設などが必要です。

実施内容

- 駅周辺の整備計画を検討します。

用語解説

ニーズ

Needs (必要。要求。需要。)

コミュニティビジネス

地域社会を基盤に、地域住民を中心的な担い手として行う小規模な事業。



誰が何をするのか



協働の進め方

町内の商店と住民、行政が連携し、商業のにぎわいづくりを推進します。



住民・団体の役割

- 町内店舗での消費に努めます。



事業者の役割

- 魅力ある店舗や特色ある商品の開発に努めます。



行政の役割

- 事業者への支援を充実します。
- 関係機関との連携を推進します。



産業まつり



産業まつり

(2) 産業振興

観光 振興



目標

町の魅力を町内外へ発信するとともに、
住民が楽しめるまちをつくります

●各種イベントや特産品などを町内外へ発信するとともに、住民が楽しみ、イベントに参加しやすい取組を進めます。



取組の成果指標



指標	現状値 (2017)	5年後の目標値 (2023)	20年後の方向性 (2038)
於大まつり来場者数	13,000人	17,000人	↗
観光協会ホームページ 年間アクセス数	25,021件	36,600件	↗

関連計画

—

関連施策

農業振興
商業振興
地域活動



目標を実現させるための取組



取組①

観光や物産のPR推進

各種イベントや物産のPRを強化し、東浦町の魅力を積極的に発信します。

現状

- 特産品である東浦ぶどうの知名度にかげりがみえるようになっていきます。また、観光資源などの知名度は低い傾向にあります。

課題

- 観光や物産のPRの強化が必要です。

実施内容

- 観光協会や近隣自治体と連携し、ホームページやSNS、マスコミなどで観光や物産情報を発信します。

取組②

住民も楽しめる観光の推進

集客のための観光だけでなく、地元への誇りや愛着を育み住民も楽しめる観光を目指します。

現状

- 住民が町内の魅力を知らないことが多いです。

課題

- 住民に長くこの町に住んでもらうため、住民も楽しめる観光事業が必要です。

実施内容

- 各種イベントを充実させるとともに、町内を巡るルートづくりと情報提供を行います。
- 東浦ならではの地域資源を活かした体験プログラムづくりなど、着地型観光の検討を行います。



於大まつり



おだいちゃん

用語解説

SNS

Social Networking Service(インターネット上の会員制サービスの一つ。友人・知人のコミュニケーションを円滑にする手段や、新たな人間関係を構築する場を提供するサービス。)



誰が何をするのか



協働の進め方

於大まつりなど住民参加型のイベントに住民や事業者などの声を反映し、住民がまちの魅力を再発見できる機会を向上させます。



住民・団体の役割



- まちの魅力の発見や積極的なPRに努めます。
- イベントへの積極的な参加に努めます。



事業者の役割



- まちの魅力や観光資源の発信に努めます。



行政の役割



- 住民や各種団体、事業者などと連携した幅広い観光情報を発信します。
- 住民が参加できる場の創出を行います。



於大まつり



宵まつり



大府東浦花火大会